

# 令和元年度第1回加西市元気なまちづくり市民会議 次第

令和元年6月24日(月) 14時～  
加西市役所 1階多目的ホール

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 委員等出席者の紹介
- 4 議 事
  - (1) 加西市元気なまちづくり市民会議の進め方
  - (2) 内部評価（1次評価）結果の概要説明
  - (3) 外部評価（2次評価）実施要領
  - (4) 令和元年度地域創生関連の主な取組み
  - (5) 加西市地域創生戦略の成果指標の状況（平成30年度）
  - (6) 次期加西市総合計画・地域創生戦略の策定に向けての方針（案）
- 5 その他
- 6 閉 会

## 配布資料

- ・資料1 加西市元気なまちづくり市民会議の概要
- ・資料2 加西市元気なまちづくり市民会議の運営について
- ・資料3 加西市元気なまちづくり市民会議設置要綱
- ・資料4 総合計画等の進行管理について
- ・資料5 平成30年度内部評価の概要
- ・資料6 外部評価（2次評価）実施要領（案）
- ・資料7 令和元年度地域創生関連の主な取組み
- ・資料8 加西市地域創生戦略の成果指標の状況（平成30年度）
- ・資料9 次期加西市総合計画・地域創生戦略の策定に向けての方針（案）
- ・資料9－1 次期総合計画・地域創生戦略策定に向けた意見の募集方法について（案）
- ・参考資料

## 【次回開催予定】

第2回 令和元年7月29日(月) 14:00～ 市役所1階多目的ホール  
※ 平成30年度事業の評価検証 等

## 令和元年度 第1回加西市元気なまちづくり市民会議 出席者名簿

(五十音順)

氏名	団体名等	役職	備考
石 芳博	加西市区長会	富田地区代表区長	(欠席)
上田尾 真	神戸新聞社	北播総局長	
織部 明政	加西市連合PTA	副会長	(欠席)
久米澤 稔	連合兵庫北播地域協議会	副議長	
杉本 建人	加西商工会議所	専務理事	
杉山 武志	兵庫県立大学環境人間学部	准教授	
高見 千里	女性農業者	代表	
谷勝 公代	加西市連合婦人会	会長	
辻田 聡信	加西市地域おこし協力隊	隊員	
仁科 崇良	北条金融協会	会長	(欠席)
松岡 勝己	加西市老人クラブ連合会	会長	
宮本 真見子	加西市立幼稚園・こども園PTA連絡協議会	会長	

### ■事務局

氏名	所属・役職名
千石 剛	ふるさと創造部長
藤後 靖	ふるさと創造部人口増政策課長
後藤 伸嘉	ふるさと創造部人口増政策課係長
岩野 裕之	ふるさと創造部人口増政策課主任
大西 弘晃	ふるさと創造部人口増政策課主事
小山 映	ふるさと創造部人口増政策課まちづくり専門員

## 加西市元気なまちづくり市民会議の概要

## 1 趣旨

平成 28 年 3 月に策定した加西市総合計画後期計画(平成 28 年度～令和 2 年度)等（以下「総合計画<sup>※</sup>等」という。）に基づいた元気なまちづくりを、市民との協働により推進するとともに、効率的かつ透明性の高い行財政運営を構築するため、「加西市元気なまちづくり市民会議」（以下「市民会議」という。）を設置する。

## 2 体制と役割

総合計画等の進行管理のため、地域の産学官金労言老若女の有識者による市民会議を設置し、地域創生戦略や行財政改革プラン等について報告を受け調査するほか、検討した意見を市長に対して提案する。

## 市民会議の体制



## 市民会議の役割

- ① 加西市地域創生戦略の推進及び評価検証
- ② 行財政改革プランの推進及び評価検証
- ③ その他総合計画等の推進に関して必要な事項

※総合計画は、自治体の全ての計画の基本となり、分野ごとの個別計画（産業振興・観光・都市計画・地域福祉・防災など）の最上位に位置づけられる行政運営の総合的な指針となる計画である。

市民会議では、このうち総合計画の実施計画として策定している「行財政改革プラン」及び人口問題や地域の活性化に特化した計画である「地域創生戦略」に基づき取り組んでいる 196 の事業について評価検証を行う。

## 3 令和元年度市民会議のスケジュール

第 1 回市民会議 令和元年 6 月 24 日（月）	・進め方の検討 ・内部評価の概要報告
第 2 回市民会議（部会） 令和元年 7 月 29 日（月）	・平成 30 年度事業の評価検証（総合評価）
第 3 回市民会議（部会） 令和元年 8 月 21 日（水）	・平成 30 年度事業の評価検証（意見・提案等） ・財政状況（平成 30 年度決算見込ベース）の報告
第 4 回市民会議 令和元年 9 月 24 日（火）	・令和 2 年度 行財政改革プラン（案）の検討 ・総合計画審議会答申についての対応状況の報告
第 5 回市民会議 令和元年 11・12 月頃予定	・次期総合計画等の策定における基本構想・基本方針等の検討
第 6 回市民会議 令和 2 年 1・2 月頃	

## 加西市元気なまちづくり市民会議の運営について

**1 会議の公開（会議の傍聴）について**

- (1) 会議は、原則公開とする。ただし、会長が公正かつ円滑な議事運営に著しい支障が生じると認めたときは、非公開とすることができる。
- (2) 会議の公開は、傍聴を希望するものに当該会議の傍聴を認めることにより行う。
- (3) 傍聴人の定員は、会議の会場の規模に応じて決定する。
- (4) 前2号に掲げるもののほか、会議の傍聴に関して必要となる手続は、市の規定に基づいて行う。

**2 議事の表決等について**

- (1) 議事等に関して表決が必要な場合は、挙手により行う。
- (2) 会議において意見等の発言を行う場合は、挙手の上行う。

**3 会議録の作成について**

- (1) 会議録は、要点筆記で作成する。

**4 会議録等の公開について**

- (1) 会議録は、市のホームページで公開する。ただし、委員の氏名など発言委員（会長及び副会長を除く。）を特定できる内容は、非公開とする。
- (2) 会議録と併せて、会議資料を公開する。
- (3) 委員名簿は、市のホームページで公開する。

**5 その他**

その他会議の運営に関して必要な事項は、会長が市民会議に諮って定める。

## 加西市元気なまちづくり市民会議設置要綱

## (設置)

第1条 加西市総合計画等（以下「総合計画等」という。）に基づいた元気なまちづくりを、市民との協働により推進するとともに、効率的かつ透明性の高い行財政運営を構築するため、加西市元気なまちづくり市民会議（以下「市民会議」という。）を設置する。

## (所掌事務)

第2条 市民会議は、総合計画等の進行管理のため、次の各号に掲げる事項について報告を受け調査するほか、検討した意見を市長に対して提案することができる。

- (1) 加西市地域創生戦略の推進及び評価検証に関する事項
- (2) 行財政改革プランの推進及び評価検証に関する事項
- (3) その他総合計画等の推進に関して必要な事項

## (委員)

第3条 市民会議の委員（以下「委員」という。）は、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 関係団体等の推薦する者
- (2) 学識経験者
- (3) その他市長が必要と認める者

2 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

3 委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、その前任者の残任期間とする。

## (会長及び副会長)

第4条 市民会議に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、市民会議を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

## (会議)

第5条 市民会議は、会長が招集し、会長がその会議の議長となる。

2 市民会議は、委員の半数以上の者が出席しなければ開くことができない。

3 市民会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

## (部会)

第6条 市民会議は、必要に応じ、部会を置くことができる。

2 部会の運営について必要な事項は、会長が定める。

## (意見等の聴取)

第7条 市民会議は、その所掌事務を遂行するため、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 市民会議の庶務は、ふるさと創造部人口増政策課において処理する。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、市民会議の運営に関し必要な事項は別に定める。

#### 附 則

- 1 この要綱は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 第5条第1項の規定にかかわらず、最初の市民会議は、市長が招集する。

## 総合計画等の進行管理について

### 1 目的

第5次加西市総合計画及び加西市地域創生戦略を着実に推進していくため、施策・事業の実施状況から目標の評価検証を行うとともに、P D C Aサイクルに基づく進行管理により、効果的・効率的な行政運営に繋げる。

### 2 評価・見直しの考え方

総合計画の進行管理にあたっては、行政内部において、加西市行財政改革プラン（総合計画の実施計画）に基づき、総合計画に包含される加西市地域創生戦略の見直しを含め、各担当部署で評価シートを作成し、毎年度評価検証を実施する。

さらに、加西市元気なまちづくり市民会議やパブリックコメント等による評価検証体制の充実を図ることにより、P D C Aサイクルでのチェック機能の徹底化を進め進行管理を適正に行う。

### 3 評価検証の全体の流れ（令和元年度）

時期	内容
5月	① 評価シート（評価）の作成 ・基本計画（行政の取り組み）毎に評価シートを作成する。 ・基本計画の進捗状況について内部評価を実施する。
6月 7月 8月	② 外部委員による検証 第1～3回加西市元気なまちづくり市民会議（全体会・部会）において、内部評価した評価シートをもとに、その評価と今後の取組や方向性について検討する。
9月	③ 加西市行財政改革プラン（概略）の作成 内部評価した評価シート、前年度決算をもとに、加西市行財政改革プラン（概略）を作成する。 ④ 外部委員による確認 第4回加西市元気なまちづくり市民会議（全体会）において、加西市行財政改革プラン（素案）について確認する。外部委員の意見をとりまとめ、全体確認を行う。
10月	⑤ 評価シート（計画）の作成 実施計画に基づき新年度予算要求につなげていく。 外部委員の意見に対する実施計画の反映は次年度以降となる。
1月	⑥ パブリックコメントの実施 加西市行財政改革プラン（案）について、幅広い意見募集を市役所、市内4公民館、市ホームページ等で実施する。
2月	⑦ 加西市行財政改革プラン（案）の見直し 上記④⑥の意見・提案を踏まえてプランに反映するなど、加西市行財政改革プラン（案）の見直しを行う。
3月	⑧ 加西市行財政改革プランの策定 内部決裁後、市ホームページで公表する。

## 4 評価検証方法

第5次加西市総合計画では、将来都市像を実現するため、5つの基本政策を掲げ、30の施策を位置付けており、各施策に196の取組（基本計画）を掲げている。

市民会議で進行管理を行うにあたっては、取組（基本計画）を構成する最も基本的な単位である30の施策について評価検証を行う。

### (1) 内部評価（1次評価）

評価シートにより196の取組（基本計画）毎に、前年度の取組状況を整理し課題と今後の取組を分析した上で、次の自己評価を行う。

さらに、事業の施策単位の達成度を勘案のうえ、施策評価一覧にある総合評価（1次評価欄）を行う。

進捗状況	①未着手、②実行中、③完了
目標数値の達成度	S：予定より早く進行 A：予定通り進行 B：予定より遅延
事業の到達度（事業単位）	S：目標を大きく上回って達成 A：目標を上回って達成 B：目標を達成 C：目標を下回っている D：目標を大きく下回っている
今後の方針	①完了、②継続、③見直し、④廃止
総合評価（施策単位）	S：目標を大きく上回って達成 A：目標を上回って達成 B：目標を達成 C：目標を下回っている D：目標を大きく下回っている

### (2) 外部評価（2次評価） ※詳細は【資料6】を参照

委員が市民の視点から30施策について、1次評価の総合評価（5段階評価）と同様の基準で評価する。必要に応じて意見・提案等のコメントを付すものとする。

#### 評価の手順

① 1次評価の報告	1次評価結果について、事務局より全体概要を説明する。
② 部会での検討	市民会議において総合評価（1次評価）の内容やその分析結果について、3つの部会に分かれて施策の2次評価案を作成する。
③ 全体会での検討	全体会議において、1次評価と2次評価案で共に評価が悪いもの及び乖離の大きいもの等について重点的に協議し2次評価をまとめる。

## 5 結果の反映・活用

外部評価結果を事務局から各部にフィードバックの上、総合計画の目標達成をめざし必要な改善検討を加えて、行財政改革プラン（総合計画の実施計画）の見直しに反映するものとする。また、外部評価は市ホームページ等で公表する。

## 平成 30 年度内部評価の概要

後期基本計画に掲げられた取り組みは全部で 30 施策（196 事業）ありますが、令和元年度から着手する事業等を除いた検証可能な 203 指標の進捗や到達度等を基に 30 施策について評価・検証しました。

各施策の評価・検証については、30 年度単年度の指標達成率のほか事業内容・規模等にも配慮しながら事業毎の到達度を「S（目標を大きく上回って達成）」、「A（目標を上回って達成）」、「B（目標を達成）」、「C（目標を下回っている）」、「D（目標を大きく下回っている）」の 5 段階で評価のうえ、施策全体の総合評価を、同様の 5 段階区分で評価しました。

全体として一番多いのは B で 25 施策、次いで C の 3 施策となっており、A は 2 施策となっています。今回の評価・検証は、総合計画の後期計画の中間年度となる平成 30 年度数値を確認するものとなっています。計画も半ばを過ぎる年度であり、概ね B 評価が多くなっており、各事業の指標の単年度達成率から算出した全体の単純平均値は、99%となっています。

※今後、精査の結果、数値が異動する場合があります。

基本政策	S	A	B	C	D	達成率 (H30 年度)	達成率 (H29 年度)
1 明日を担い 未来へつなげる人づくり			4			113%	117%
2 郷土に誇りを持てる 家庭・学校・地域の輪づくり			2	1		89%	97%
3 地域の豊かさと元気を 取り戻す産業づくり			4			104%	100%
4 都市の魅力と快適さを 高めるまちづくり		1	3			89%	95%
5 誰もが最期まで元気に 暮らせる健康づくり			2	1		87%	106%
6 身近な幸せを実感できる 安全と安心の暮らしづくり			3			112%	149%
7 自然環境の保全と 特色ある景観づくり			2			117%	103%
8 循環型社会をめざす 生活環境づくり		1	3			100%	99%
9 住民参画・男女参画で 地域を元気にする加西			1	1		88%	81%
10 健全な行財政運営の確立			1			103%	104%
合 計	0	2	25	3	0	99%	107%
割 合	0%	7%	83%	10%	0%		

## 平成 30 年度の取組概要（基本政策単位での内部評価まとめ）

後期総合計画の実施計画に基づき、住みやすいまち・住みたくなるまちを目指して、5つの視点から各分野の事業を着実に実施しました。そして、加西市地域創生戦略において、早期の転出入均衡を図るとしていた社会増減については、大幅に改善されて平成 30 年度は 25 年ぶりにプラスに転じるなど、一定の成果を上げることができました。

基本政策	基本政策	主な取組概要
子どもが元気に育ち いきいきと活動する 加西 (人づくり)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館登録グループが、延 52 回にわたり 3,492 人に対して出前講座を行った。</li> <li>・3 回目を迎える加西能では、開演前に大行列ができるなど盛況となった。</li> <li>・土曜チャレンジ学習は、7 校で実施し延 2,239 人の参加となった。</li> <li>・若者団体交流は会員数の減少の中、昨年より事業数が増加した。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加西市出逢いサポートセンターの登録者同士のマッチングを始め、126 回のお見合いの機会を設けた。</li> <li>・オープンスクールの周知とゲストティーチャーの招致を推進した。</li> </ul>
雇用と経済が 元気を取り戻す 加西 (産業)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たにアスパラガスの栽培に取り組む農家のハウス補助を JA 兵庫みらいと連携し上乗せ補助を実施した。</li> <li>・加西インター産業団地（1 工区）の整備工事実施設計を行ったほか、農村地域産業導入実施計画の策定や優先交渉事業者の募集を行った。</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誘致したビジネスタイプの宿泊施設が 12 月にオープンするとともに、北条旧市街地のリノベーションを進めた。</li> <li>・鶉野飛行場跡周辺の環境整備のほか、拠点施設の基本設計を行った。</li> <li>・北条鉄道のホームページの機能強化を図り、利用促進を図った。</li> </ul>
誰もがみんな 元気で安心して 暮らせる加西 (くらし)	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者学級・講座の充実により、受講者数が増加した。</li> <li>・1 歳～3 歳未満の方を対象におたふくかぜの予防接種費用を助成した。</li> <li>・加西市自殺対策計画を策定し、対策を検討した。</li> </ul>
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健幸ポイント事業を拡充し、1,500 名の参加があった。</li> <li>・介護予防リーダー養成講座を社会福祉協議会と共催し、多数の参加があった。</li> <li>・新たに新生児聴覚検査の助成を開始した。</li> <li>・北条ならの実こども園が開園し、(仮称)泉こども園の敷地改修工事を実施した。</li> <li>・病児病後児保育施設を月曜日から土曜日の開設とした。</li> </ul>
地球に優しい 環境都市加西 (環境)	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あびき湿原内に近年来場者が多くなったため盗掘防止用の柵を設置した。</li> <li>・加西市の南部地域を中心に、約 10 km の獣害防護柵を設置した。</li> <li>・ふるさと加西フォトコンテストにインスタグラム部門を新設し、369 件の応募があった。</li> </ul>
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・播磨風土記をデザインしたマイバック（エコバック）を作成し、配布した。</li> <li>・家庭用の廃食用油を回収し、リサイクル会社へ販売する事業を実施した。</li> <li>・市内の全小・中学校で環境体験学習を実施した。</li> </ul>
パートナーシップ による地域経営 (地域経営)	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全小学校区に設置されたふるさと創造会議の組織運営を中心に支援した。</li> <li>・女性・若者企業調査助成金制度を活用し、カフェレストランが開業した。</li> <li>・ねひめカレッジにて日本語教室を開室した。</li> </ul>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税推進事業の更なる強化をはじめ、歳入の確保・歳出の適正化に努めた結果、実質収支に大きな改善が見込まれた。</li> <li>・兵庫県整理回収チーム指導による税の徴収取組強化により、徴収額増となった。</li> </ul>

## 外部評価（2次評価）実施要領（案）

第5次加西市総合計画及び加西市地域創生戦略の着実な推進にあたり、施策・事業の実施状況について、行政内部による評価検証（1次評価）の内容を市民の目線で市民会議委員による外部評価（2次評価）を行い、透明性を確保する。

## 1 部会の設置

外部評価（2次評価）は、次のとおり1部会4名体制で3つの部会を編成し、30 施策を分担して評価検証を行う。また、部会には部会長を置き、部会の進行管理を行うものとする。

部会名	対象政策	部会長	担当委員	参考（H30 年度）	市担当
① 人づくり・産業部会	政策1 政策2 政策3	委員	委員 委員 委員 委員	杉本副会長（部会長） 谷勝委員 淵脇委員 吉田(英樹)委員	各部会各々 ・事務局 2～3名 ・説明員 2～3名
② まちづくり・くらし部会	政策4 政策5 政策6	委員	委員 委員 委員 委員	吉田(廣)委員（部会長） 高見委員 辻田委員 森委員	
③ 環境・地域経営部会	政策7 政策8 政策9 政策10	委員	委員 委員 委員 委員	杉山会長（部会長） 久米澤委員 武貞委員 辰巳委員	

## 2 外部評価（2次評価）の進め方

## (1) 第2回加西市元気なまちづくり市民会議

- ① 全体会で事務局より部会での作業方法の説明
- ② 部会での検討

市民の視点から各施策について「総合計画施策評価一覧」【参考3】を使い、内部評価（1次評価）の総合評価（5段階評価）と同様の基準で評価する。

評価方法は、施策毎の1次評価が妥当であるかを検討し、施策評価一覧の総合評価欄にSからDを書き込んでいく。部会長が案を示し、それに各委員が意見を出す等の方法が考えられる。

総合評価基準	説明	目標数値の達成度 単年(H30)の数値目安
S 目標を大きく上回って達成	計画を大きく上回る進捗があり、予定を大幅に超える成果を得ている	130 以上
A 目標を上回って達成	計画が順調に進捗し、予定以上の成果を得ている	110～129
B 目標を達成	計画通り概ね進捗し、一定の成果を得ている	90～109
C 目標を下回っている	計画より進捗が遅れ気味で、成果もあまり得られていない	70～89
D 目標を大きく下回っている	計画より進捗が遅れており、成果はまだ得られていない	69 以下

## (2) 第3回加西市元気なまちづくり市民会議

---

- ① 全体会で事務局より部会での作業方法の説明
- ② 部会での検討  
前回会議で行った評価を確認しながら、前回の意見を記録した事務局整理をもとに意見・提案等のコメントを付し、2次評価案を作成する。
- ③ 各部会長より総括
- ④ 全体会での検討

## 令和元年度地域創生関連の主な取組み

(単位：千円)

	事業名	内容	予算額	区分	担当課
出産・子育て	中学3年生へのピロリ菌検査の実施	市内中学3年生へのピロリ菌検査を実施し、胃がんゼロのまちを目指す。令和元年度から学校検尿と同時実施し、生徒の負担軽減を図る。	1,642	拡充	健康課
	総合支援アプリ導入委託	子育て支援等のため、スマートフォンのプッシュ通知機能を活用した市の情報を発信する総合アプリを開発する。	4,000	新規	情報政策課
	男性への風疹抗体検査・予防接種の実施	国の風疹対策に伴い、39歳から56歳の男性への風疹抗体検査並びに同抗体価の低い男性への予防接種への助成を実施する。	1,000	新規	健康課
	保育料の無償化	公私立幼保施設の保育料の一部無償化を継続するとともに、令和元年10月から実施予定の幼児教育無償化にも対応する。また、多子世帯に対する保育料軽減を拡充する。	191,829	拡充	こども未来課
定住促進	通学定期券購入補助事業	大学・短大・専門学校などへ進学し、加西市外へ公共交通を利用して通学する学生の通学定期券購入費の一部を助成する。自宅通学者を支援し、学生の地元定着を促進する。	1,000	新規	人口増政策課
	高速泉バス停駐車場整備事業	中国自動車道の泉バス停において、駐車場を追加整備し、利用者の利便性の向上を図る。	29,000	新規	人口増政策課
	北条鉄道交差施設整備事業	北条鉄道法華口駅において、無人駅における列車交換設備の整備を支援し、利用者の利便性の向上を図る。	71,324	継続	人口増政策課
産業振興	加西インター産業団地整備事業	農業と産業のバランスの取れた維持・発展を目指し、加西インター周辺地区において、新産業団地の整備(用地取得、宅地造成、関連調査等)に着手する。	1,113,000 (特別会計)	拡充	開発推進課
	就労準備支援事業	就労可能な者で社会適応能力が低いものに対して就労準備支援を行い、就労者の拡大を図る。発展的に施設型の就労準備委託事業を開始し、事業の充実を図る。	11,958	拡充	地域福祉課
	インターンシップ雇用促進モデル事業	関西出身の学生が多い鳥取大学と連携して、夏休みに学生(1～3年生)を招き、加西市内の事業所を巡る産業ツアーを、モデル事業として実施する。	790	新規	産業振興課
	女性・若者担い手育成奨励金	認定農業者及び集落営農組織において、女性や若者の参画を推進し、農業労働力を確保するため、女性及び若者のオペレーター講習受講費用の補助を行う。	300	新規	農政課
	空がつながまち・ひとづくり交流事業	地方創生推進交付金を活用し、平和学習などの鶉野飛行場跡関連観光事業や地域づくりの新たな担い手として期待される地域外の人材「関係人口」を創出するための関係人口づくり事業、地域活性化拠点施設の実施設設計やモバイルガイドシステムの構築を行う地域活性化拠点整備関連事業を実施する。	140,000	拡充	文化観光スポーツ課 きてみて住んで課 人口増政策課 鶉野未来課
教育	外国語教育推進プラン	小学校外国語の教科化に向け、外国語指導助手の増員、オンライン英会話の実施及び英語が堪能な地域人材を派遣する。	27,261	拡充	学校教育課
	認定こども園の整備 (公立保育所運営事業、民間認定こども園整備事業)	幼児期の教育と保育の一体的な提供と拡充を図るため、(仮称)泉こども園建設工事、別府幼児園解体工事を行う。また、民間園への認定こども園整備補助を行う。	1,241,895	拡充	こども未来課
共通	第6次加西市総合計画策定事業	10年後の加西市の将来像を設定し、その実現に向けたまちづくりの基本的なガイドラインとなる計画を策定する。また、地方創生と人口減少に取り組むための指針となる地域創生戦略の要素も盛り込む。	5,000	新規	人口増政策課

## 加西市地域創生戦略の成果指標の状況（平成 30 年度）

地域創生戦略の分野としては①人口増対策(自然増と社会増)、②しなやかで元気な地域づくりを掲げており、それぞれ 3 つの目標、計 6 つの基本目標を設定している。この基本目標に対して 5 年後の令和元年度に実現すべき成果に係る総合的な数値目標を設定しており、30 年度末の数値指標の状況は、以下の表の 30 年度数値欄のとおりである。

なお、基本目標のアクションプランとなる各分野の施策についても評価指標を設定しており、総合計画施策評価一覧の戦略アクションプラン欄に整理番号を示すとともに、評価シート（個票）にも表示している。

## ① 人口増対策

基本目標	成果指標（令和元年）		数値・基準年	29 年度	30 年度
	項目	数値目標			
【基本目標 1】 安心して結婚・出産・子育てできる環境をつくる	未婚率 (女性 25～34 歳)	46.6%	49.4% (国勢調査) (平成 22 年)	50.2% (平成 27 年)	50.2% (平成 27 年)
	出生率	1.6	1.26 (平成 26 年度)	1.29	1.28
	幼保児童数	1,300 人	1,265 人 (平成 26 年度)	1,316 人	1,332 人
【基本目標 2】 若者や女性の要望にマッチした雇用を確保する	若者の残存定住率	80%	73% (平成 26 年度)	75%	78%
	市内事業所従業員 市内居住率	50%	42% (市新規採用等雇用 現況調査) (平成 26 年度)	42%	38%
【基本目標 3】 地域資源を活用した交流・滞在から定着を拡大する	観光入込客数	年間 100 万人	85.3 万人 (平成 26 年度)	83.2 万人	92.1 万人
	移住斡旋数	年間 200 件	10 件 (平成 26 年度)	54 件	83 件

## ② しなやかで元気な地域づくり

基本目標	成果指標（令和元年）		数値・基準年	29 年度	30 年度
	項目	数値目標			
【基本目標 4】 社会や産業の変革に対応した活力ある住みやすいまちをつくる	製造品出荷額	5 年間で 10%増	2,379 億円 (工業統計) (平成 25 年度)	2,487 億円 (28 年速報値)	2,586 億円 (工業統計) (平成 29 年)
	小売業年間販売額	5 年間で 10%増	382 億円 (商業統計) (平成 24 年度)	444 億円 (平成 28 年)	444 億円 (平成 28 年)
	総就業人口	23,000 人	22,721 人 (国勢調査) (平成 22 年度)	21,113 人 (平成 27 年)	21,113 人 (平成 27 年)
	コミュニティバス系統数	10 系統	8 系統 (平成 26 年度)	9 系統	9 系統
【基本目標 5】 災害に強く、健康で元気に暮らせる社会をつくる	防災訓練・研修回数	年間 71 回	平均：57 回 (平成 25・26 年度平均)	91 回	75 回
	要介護認定者割合	現行水準を維持	19.3% (平成 26 年度)	19.5% ※19.8%より修正	19.8%
【基本目標 6】 歴史と文化にあふれる加西のブランドイメージを高める	市ホームページ閲覧数	年間 195 万件	153 万件 (平成 26 年度)	189 万件	196 万件
	メディアの登場回数	年間 530 件	400 件(新聞) (平成 26 年度)	389 件	464 件

## 次期加西市総合計画・地域創生戦略の策定に向けての方針（案）

## 1 概要

加西市の地域創生戦略（平成 27 年 10 月策定）及び総合計画（平成 28 年 3 月後期 5 年計画策定）は、それぞれ、令和元年度と令和 2 年度に目標年度を迎えることから、少子高齢化・人口減少社会という大きな構造変化に負けない加西づくりに的確に対応するため、次期計画等の策定については、令和元年度から着手し、新たな都市像や目標のもと施策をとりまとめ、行財政改革プランと整合を図りながら推進を図るものとする。

## 2 総合計画と地域創生戦略の計画期間の調整

国は、既に「まち・ひと・しごと創生基本方針 2018」で、令和 2 年以降の次期「総合戦略」の策定に取り組むことを明らかにしており、令和元年度中の次期戦略の発表が見込まれる。

現在、加西市の場合、両者の計画期間に 1 年のずれがあるが、地域創生戦略の評価・検証等の進捗の管理は総合計画に組み込んで一体的に行っており、今後も地域創生戦略が継続されることを考慮して、以下の通り計画期間を調整のうえ同期の取れたものとしていく。

計画	平成									令和															
	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
加西市総合計画	現計画（10 年計画）									次期計画（10 年計画）															
	前期計画（5 年）					後期計画（5 年）				前期計画（5 年）						後期計画（5 年）									
	●	→	→	→	→	●	→	→	→	→	●	→	→	→	→	●	→	→	→	→	●	→	→	→	→
加西市地域創生戦略						現戦略（5 年）				次期戦略（6 年）						以後の戦略（5 年）									
						●	→	→	→	→	●	→	→	→	→	→	●	→	→	→	→	●	→	→	→

## 3 検討の大枠（案）

計画	令和元年度	令和 2 年度
加西市総合計画	・都市像、目標を検討する。	・前期基本計画の施策検討を行う。
加西市地域創生戦略	・上記に合わせて、骨子部分を作成する。 ※考え方・人口推計・人口目標・基本方針等	・上記と同時一体的に、アクションプランを作成する。

#### 4 計画策定業務のスケジュール概要

年度	月	意見集約・会議等	検討作業
令和元年度	6月	(計画等策定業務の委託発注)	・庁内検討組織による検討開始（定期的 に実施） ・基礎データの調査
	7月		
	8月	・市民アンケート	
	9月	・団体等ヒアリング・意見交換	・総合計画・地域創生戦略実施状況の評 価・検証の実施
	10月	・市民参画ワークショップ（5回程度）	
	11月	・第5回加西市元気なまちづくり市民会議	・総合計画基本構想案（都市像・目標 等）の検討・作成 ・地域創生戦略骨子案等の検討・作成
	12月		
	1月	・第6回加西市元気なまちづくり市民会議	
	2月		
	3月		
令和2年度	4月		・議会説明（地域創生戦略の骨子とアクシ ョンプラン概要の計3回程度）
	5月		
	6月	・計画等審議（5回程度、総合政策審 議会（仮称）等の設置）	・総合計画（前期）の施策検討 ・地域創生戦略アクションプランの作成
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月	・パブリック・コメント実施	
	12月	・審議会総合計画答申	・総合計画実施計画の作成
	1月		・地域創生戦略の策定
	2月		
	3月	・総合計画の議会議決	・総合計画（構想・前期計画）策定

#### 5 計画等の構成

計画等の全体構成は、議会議決対象となる総合計画の基本構想・前期基本計画を先にして、その後に地域創生戦略（議会へは説明のみ）をつける。冊子印刷は、令和3年度予定。

## 次期総合計画・地域創生戦略策定に向けた意見の募集方法について（案）

「加西市総合計画」及び「加西市地域創生戦略」の次期計画等策定の基礎資料として活用するため、市民の方々のご意見を広く募集し、これまでの取り組みの評価を行うとともに、今後のまちづくりの方向性についても伺うことで市民の方々のニーズを把握することを目的に実施するものです。

項目	実施概要			
	実施時期	回数等	対象者	備考
<b>市民提言</b> 	市民の皆さんの斬新で深い洞察力にあふれた将来ビジョン（市民提言）を募集します。			
	8～9月	—	加西市民及び加西市に関心がある人	所定の応募用紙を郵送、持参、FAX、メールのいずれかで提出
<b>市民アンケート</b> 	総合計画等の進捗状況や、市民意識の変化などを把握するとともに、市の取組みを評価し、未来につなげていくための郵送アンケートを実施します。			
	8～9月	1回	18歳以上の加西市民 4,000名 ※無作為抽出	中高生向けアンケートも別途検討中
<b>市民ワークショップ（ワールドカフェ）</b> 	カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分けたグループで、自由に話し合いを行うことにより、新しいアイデアを生み出す対話イベントです。			
	9月	1回	100名程度 市職員も参加	計画等策定のキックオフイベント
<b>市民ワークショップ（グループ会議）</b> 	将来のまちづくりについて、日ごろ感じていることなどを市民の視点から自由に話し合い、提言としてまとめていただきます。			
	10月	全5日間程度 ・全体会2回 ・部会3回	40名程度 市職員も参加	ワールドカフェ参加者より募集
<b>グループインタビュー</b> 	市とかかわりの深い関係団体等の方々から、まちづくりの方向性に関するご意見を伺い計画に幅広く反映させるため、ヒアリングを行います。			
	8～10月	10団体程度	加西市内で活動する団体・企業等	—